

1. 論文作成の目的

筆者らの研究成果を公表し、本分野の学術的発展に寄与することを目的とする。

2. 投稿者の資格

投稿の代表執筆者（筆頭著作者）は投稿論文に関する貢献度が最も高い者とし、個人正会員、個人賛助会員、学生会員、法人正会員、法人賛助会員等、J L A 会員であること。連名者（連名著作者）は投稿論文に貢献し、当該論文に関する質疑に回答できる者とし、J L A 会員であることが望ましい。

3. 論文集掲載までの流れ

(1) 原稿受付

- (i) 論文は一般に公表されている刊行物に未投稿のものであること。
- (ii) 論文の査読、掲載等を円滑に実施するため、原稿と一緒に表 1 に示すチェックリストを提出のこと。チェックリストは本学会ホームページよりダウンロードすること。
- (iii) 論文の投稿日は原稿の受付日とする。
- (iv) 投稿原稿の内容に関する責任はすべて著者に帰属する。
- (v) 投稿原稿の内容に関する討論についての責任は著者に帰属する。
- (vi) 原稿は投稿論文作成用テンプレート（WORD）に従って、原則日本語で作成する。
テンプレートは本学会ホームページよりダウンロードすること。
- (vii) 原稿は最大 8 ページまでとする。

(2) 提出された原稿の内容および体裁の審査を行い、不備な場合は原稿の再作成を依頼する。原稿は 1 か月以内に再提出すること。

(3) 討論および審査の実施。

(4) 掲載可否の判定。

(5) 掲載可の場合、最終原稿、著作権移譲書等を提出し、掲載料 20,000 円を本学会に納付する。

(6) 掲載否の場合異議申し立てにより、その申し立てが妥当と認められれば再審査する。

(7) 論文掲載（Web）

4. 論文の審査

論文の内容および体裁については本学会理事会が指名する 2 名以上の査読委員が審査する。論文内容については代表執筆者と査読委員との誌上討論を実施することがある。

5. 著作権

(1) 論文集に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。

(2) 当該論文の審査合格の時点で、投稿原稿の代表執筆者は著作権を本学会に譲渡する。連名者はその旨を代表執筆者に委任しておくこと。

- (3) 著者が論文の一部を複製、翻訳して用いることは妨げないが、全文を複製して他誌に掲載する場合は本学会の承諾が必要である。

6. その他

- (1) 原稿の内容に関する責任は著者に帰属する。
 (2) 論文集に掲載前であれば原稿を取り下げることができる。
 (3) 執筆要綱は必要に応じて改定する。

表1 論文投稿時提出用チェックリスト

チェック欄	チェック項目
全般	1 投稿規定と執筆要領に従って原稿を作成していますか。
	2 JLAの論文等にふさわしい内容としていますか。
	3 共著者の人数は適正にしていますか。
	4 全共著者が投稿と内容を把握・納得していますか。
	5 原著者や著作権者の許可を得ていない図表などを転載していませんか。
	6 著者による原著で一般に公開されている刊行物に未投稿ですか。
価値	1 リーダーシップに関して研究したもので、新しさのあることがらをまとめていますか。
	2 価値の主張(研究の意義や重点)が十分くみ取れるように、論理展開していますか。
	3 読者に役立つように、一般性、客観性または普遍性がある内容にしていますか。
投稿	1 A 4判で作成していますか。
	2 規定ページ数以内としていますか。
	3 投稿原稿は、白黒印刷用のデータとしていますか。
表題と要旨	1 表題は、内容や特徴を短く適切に表現していますか。
	2 英文表題は、和文表題の意味・内容を適切に表現していますか。
	3 要旨には、対象とその錦衣、方法、新しい事実、結論などが明記していますか。
	4 英文要旨は、適切な語数(200-250語)としていますか。
	5 要旨の下にキーワード(数語)を必要な順で記載していますか。
執筆	1 一つの文章が長すぎる(4行程度以上)記述としていませんか。
	2 段落を適切にしていますか。
	3 誤字・脱字、記号の誤記および単位(SI)の不統一などしていませんか。
	4 図・表・文献番号の誤記などしていませんか。
	5 読者が理解できないような専門用語には、補足説明していますか。
	6 テンプレートの指示に従った文字(書体、フォント)で書いていますか。
文献	1 本文中に参照順に通し番号で「○○ ⁽¹⁾ 」のように、右上上付き形式で引用していますか。
	2 テンプレートに従って、正しい掲載形式、略記法としていますか。
	3 未公開あるいは投稿中のものを引用していませんか。
	4 電子媒体を引用する場合には、テンプレートに従うこと。またWebページの場合には参照日付を表記していますか。
図・写真・表	1 説明が本文中に必ず記載されていますか。
	2 図(写真も含む)、表ごとに番号と題目を付けていますか(図の題名は下、表は上)。
	3 題名だけで内容が分かるようにしていますか。
	4 単位はSIで統一していますか。
	5 記号の意味は本文を読まなくとも分かるようにしていますか。

3. 研究結果または調査結果

3.1 調査結果の事例

本文. (9 points)

⋮



本文. (9 points)

Table1 JLA System

項目	A	B	C
数	1	2	3

3.2 研究の評価

本文. (9 points)

⋮



本文. (9 points)

3.3 研究・調査の評価

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)

Table2 JLA New System

AA	BB	CC	DD	EE	FF	GG
1	2	3	4	5	6	7
11	22	33	44	55	66	77

3.4 この特性の評価

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)

3.5 研究・調査の今後

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)

4. 考察

本文. (9 points)

⋮

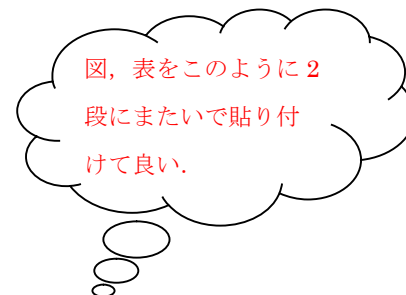
本文. (9 points)

5. 結言

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)



参考文献

- (1) 日本 太郎ら, 日本工学教育協会第 63 回研究講演会, (2015), pp70-71. <講演論文集>
- (2) Nihon, T. et al., Transactions of the ASME, 100(1978), 450. <論文集>
- (3) 日本太郎, 『リーダーシップの勧め』, (2016), pp88-95, JLA 出版. <書籍>
- (4) 日本太郎, 『月刊 JLA』, 10(2), (2017), pp10-20, JLA 出版. <雑誌 10 巻 2 号>